

## 令和6年度 学校評価Webアンケート（2学期）結果【保護者】

【実施日】令和6年11月11日（月）～三者懇談期間

【回答数】228名 ※長子の学級にて実施

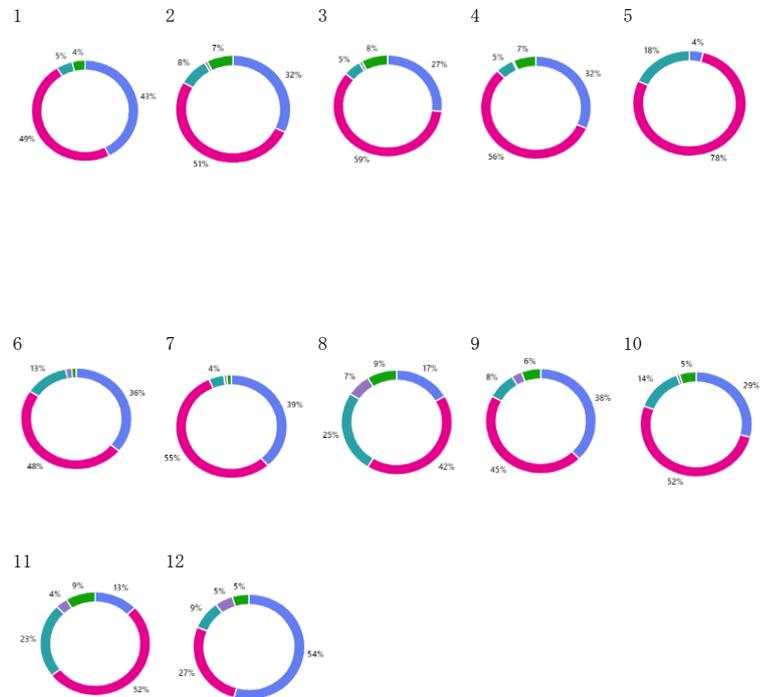
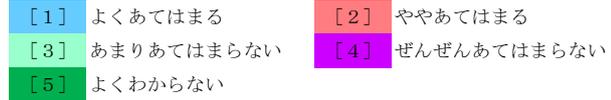
**【質問事項】**

（学校に関すること）

1	学校は、学校新聞や学年・学級通信など保護者や地域への情報発信を適切に行っている。
2	学校は、生徒のよりよい成長のため、家庭、地域、関係機関との連携を図っている。
3	学校は、生徒が自分の役割を果たし、社会で通用する力をつけるための教育に力を入れている。
4	学校は、校内の教育相談体制（進路相談・二者懇談・三者懇談、心の教室相談員・スクールカウンセラーとの相談等）が整備され、生徒や保護者が必要に応じて相談できるようになっている。
5	子どもにとって、毎日の家庭学習（宿題）の量は十分である。（新規）

（生徒に関すること）

6	子どもは、よくあいさつをしている。
7	子どもは、命の大切さを考え、社会のルールを身につけている。
8	子どもは、自分の目標や進路などについて、授業を通して考えている。
9	子どもは、学校や学級が楽しいと感じている。
10	子どもは、思いやりをもち、仲間と協力して活動している。
11	子どもは、授業はわかりやすく楽しいと言っている。
12	子どもは、意欲的に部活動に参加している。



【保護者による学校評価の考察】 ※（％）は昨年度同時期

♡：心に関すること ☹️：体に関すること 🗑️：人間関係に関すること

(学校に関すること 設問1～5)

## A 満足・よくできている…肯定的評価(①+②)が90%以上

1 情報発信 …92.0% (92.8↓)

## B 努力を継続したい…肯定的評価(①+②)が80～90%

2 家庭・地域・関係機関との連携 …83.0% (92.4↓) ♡ 🗑️ 🗑️

3 社会で通用する力をつけるための教育 …86.0% (90.0↓) 🗑️

4 教育相談体制 …88.0% (91.7↓) ♡ 🗑️

## C 努力を要する…肯定的評価(①+②)が70～80%

5 家庭学習の量 …78.0% (81.7↓) 多:4.0 (4.2↓)、少:18.0 (14.2↑)

## D 改善が必要…肯定的評価(①+②)が70%以下 …なし

(考察)

▽【設問 2】学校から家庭への連絡は頻繁に行っている。しかしながら、保護者の思いや考えを肌感覚で感じ取り、学校の方針や取組、互いの困りごとなどを共有するためにも対面による家庭訪問や個別懇談等の必要性を感じる。家庭との連携は、生徒の成長のために必要不可欠な両輪となる。誤解等がありバランスを欠くとまっすぐ進まない。担任だけでなく学年主任をはじめとする職員も同席しながら「チーム」として対応していく。多様になってきた保護者・家庭の困り感に寄り添うために情報交換をしっかりと行い、信頼を得ていきたい。

【設問 5】家庭学習の量については、「少ない」と感じている保護者が増加した。授業と同じように、与えた課題が適切であったかを振り返る必要がある。量が多ければよいのではなく、生徒一人一人の到達度を把握しながら、学習への取り組み方を指導し、基礎的な学力の定着につなげていく。また、学習用タブレットを用いたeライブラリーの活用は、教材費の削減や点検作業の効率化の面で検討する。

(生徒に関すること 設問6～12)

## A 満足・よくできている…肯定的評価(①+②)が90%以上

7 心身の健康・命の大切さを意識した正しい判断 …94.0% (93.8↑) ♡ 🗑️ 🗑️

## B 努力を継続したい…肯定的評価(①+②)が80～90%

8 あいさつ …84.0% (89.3↓) ♡ 🗑️

9 学校・学級が楽しい …83.0% (89.6↓) ♡ 🗑️

10 思いやり、仲間や地域と協力 …81.0% (85.8↓) ♡ 🗑️

12 部活動 …81.0% (85.8↓) ♡ 🗑️ 🗑️

## C 努力を要する…肯定的評価(①+②)が70～80%

## D 改善が必要…肯定的評価(①+②)が70%以下

11 自分の目標や将来の進路についての授業 …59.0% (70.6↓) ♡

12 わかりやすく楽しい授業 …65.0% (74.4↓)

(考察)

▽【設問 8】生徒一人一人の目標や将来の進路については、どうしても直近の進路決定（進学指導）にとらわれがちとなる。引き続き、1・2年生のうちから個人の適性や興味を分析しつつ、さまざまな職業へのあこがれや希望を抱くことのできる「キャリア教育」の展開を図り、職業観を含む「生き方」そのものを考える取組となるよう計画を再検討する。

▽【設問 11】わかりやすく楽しい授業の提供は、教師の生命線である。生徒一人一人の理解度を把握しつつ、生徒の興味・関心を高める教材研究をさらに進めていく。協働的な学びを意識した授業展開が主流であるが、そのうえで基礎学力の大切さや必要性を伝え、家庭学習を含めて自ら学びに向かう姿勢を身につけられるよう丁寧に指導していく。

▽【設問 6】「新中プライド」にやや陰りが見え始めた。日頃の様子からあいさつにはつらつきが失われてきたという感覚がある。あいさつはキャンペーン期間中だけでなく習慣化できるように、教師も一体となって日頃から爽やかなあいさつに努める。

▽【設問 9】コロナ禍を乗り越え、行事等の見直しが行われたが、その分の魅力を失ってしまった感がある。生徒会主催の「全校レク」など生徒が創造する行事も少しずつ始まっている。用意されているものに乗っているだけでなく、生徒が自分事として行事等に参加し、より楽しめるものにできるような仕掛けづくりや声掛けをしていく。

これらのアンケート結果を真摯に受け止め、取組を振り返り改善することで、生徒・保護者に信頼される学校づくりを目指してまいります。